

【屋外退去避難編】想定問答集 ※風水害の例

＜イメージゲームでの使用方法＞
イメージゲームでは、ファシリテーターは基本的にプレイヤーに対して各段階でどのような行動をすべきかを考えさせるための質問をします。
回答の求め方として、誰が(Who)、どこで(へ)(Where)、何(誰)を(What)、どうやって(How)のほか、必要に応じて追加質問を通じて なぜ(Why)、タイミング(When)等の具体的な内容を回答させるよう促しましょう。
このため、以下の質問や回答例は、プレイヤーの発言を促す際の補助資料ととらえて、ご活用ください。

	フェーズ	カテゴリ	管	担	風水害__浸水の恐れによる屋外退去避難	簡易回答(例)	補足説明
1	L1	判断・指示	○	○	台風が発生し、48時間以内に暴風域内に入ることが見込まれます。どうすればいいですか？ (只今の時間は、〇〇時です。)	(日中の場合) 洪水予報等の情報収集のため、防災情報サイトや河川水位情報サイトを確認します。 また、職員の勤務体制を確認しておきます。 (夜間の場合) 勤務体制のほか、緊急時の連絡体制の確認を行います。	
2	L1	判断・指示	○	○	台風が発生し、24時間以内に暴風域内に入ることが見込まれます。どうすればいいですか？ (只今の時間は、〇〇時です。)	(日中の場合) 洪水予報等の情報収集のため、防災情報サイトや河川水位情報サイトを確認します。 また、職員の勤務体制を確認しておきます。 (夜間の場合) 勤務体制のほか、緊急時の連絡体制の確認を行います。	
3	L1	判断・指示		○	(障がい者入所施設・平日日中不在の場合) 利用者の勤務先、学校等より、明日は休業・休校となる旨の連絡がありました。どうすればいいですか？	管理者に報告する。併せて、勤務体制の確認、必要に応じて体制の見直しも要請する。	利用者の勤務先、学校等との連携(連絡体制)をとります。
4	L1	点検・準備		○	避難に必要な設備や物品の点検・確認を行います。どうすればいいですか。	避難準備時に確認だけで済むよう、期限の確認、必要数の確保と保管場所の確認を行います。	必要な備品はリストに整理し、計画的に備蓄しましょう。定期的にリストの見直しを実施します。メンテナンス担当者も決めておき、定期的に買い替える等のメンテナンスを実施します。
5	L1	判断・指示	○		〇時に避難誘導を開始することが予想され、通常の時間帯に食事(入浴)することができないと考えられます。どうすればいいですか？	(食事) ※施設に応じた回答例をあらかじめ準備しておきましょう※ (入浴) ※施設に応じた回答例をあらかじめ準備しておきましょう※	食事については、食事提供の省力化を検討することも選択肢の一つです。
6	L1	伝達		○	(通所施設の場合:前日の準備行動) 施設開所前に、閉所(休業)の旨を通所利用者へ連絡します。連絡先はどのように管理していますか？	連絡先はパソコンのハードディスク内のデータで管理するとともに、停電時にも確認できるよう紙出力したものを別途保管しています。	紙出力したものは、2週間に1回など、高頻度で定期的な差し替えを行うことで、常に最新の状態を保てます。
7	L2	判断・指示	○		12時間後に、線状降水帯が発生して大雨になる可能性の予報が発表されました。どうすればいいですか？ (只今の時間は、〇〇時です。)	担当者に詳細情報を確認・報告させます。	
8	L2	判断・指示	○		洪水注意報が発表されました。また、〇川(河川名)の氾濫注意情報が発表されました。どうすればいいですか？	洪水予報等の情報収集のため、防災情報サイトや河川水位情報サイトを確認します。	
9	L2	判断・指示／体制	○	○	(管理者プレイヤーに対して) 避難準備を開始します。各役割分担をどうしますか？ (各担当プレイヤーに対して) 自分の役割は何をすればいいですか？	・情報収集・伝達・連絡を行う総括情報担当は、〇〇さん ・避難誘導体制・ルートの確認、利用者の誘導を行う避難誘導担当は、〇〇さん ・持ち出し品等の点検・準備・運搬・管理、移動車両の手配、配備等を行う装備品等準備担当は、〇〇さん	
10	L2	判断・指示	○		〇〇〇〇は、施設の中でも早期避難が必要な利用者(体調管理に留意が必要な利用者等)です。どうすればいいですか？	〇〇さんには、〇〇職員を専属配置させ、他利用者よりも先行して、避難準備・避難誘導を直ちに行います。	
11	L2	判断・指示	○	○	近所の住民の方から、「避難したほうがいい」と声掛けがありました。どうすればいいですか？	※施設に応じた回答例をあらかじめ準備しておきましょう※	地域との決め事があれば、客観的な情報を確認した上、その決め事に従い避難の判断をする。
12	L2	ルート確保		○	予定している避難経路では、工事中につきバスの通行が不可となりました。どうすればいいですか。	代替ルートとして、～の迂回ルートの安全を確認のうえ、避難所を目指すこととします。	
13	L2	伝達		○	双方の建物・施設(しまかぜ又はおたっしゃ)で連絡を取り合います。連絡はどうやって行いますか。	電話で連絡を取り合うとともに、余裕があれば直に話し合うことで、状況確認や今後の動きについて共有します。	

	フェーズ	カテゴリ	管	担	風水害__浸水の恐れによる屋外退去避難	簡易回答(例)	補足説明
14	L2	伝達		○	各利用者の家族へ避難前の事前連絡をします。各連絡先はどのように管理していますか。	連絡先はパソコンのハードディスク内のデータで管理するとともに、停電時にも確認できるよう紙出力したものを別途保管しています。	
15	L2	伝達		○	各利用者の家族へ避難前の事前連絡をします。何を伝える必要がありますか。	・〇時(又は高齢者等避難が発令されたとき)に施設を出発し＜避難先名＞へ避難すること ・〇時頃(出発から、約〇分後)に、＜避難先名＞へ到着する予定であること	利用者家族に、あらかじめ避難する場合の避難先等を説明しておきます。
16	L2	伝達		○	利用者家族への連絡がつかない方がいます。どうすればいいですか？	留守番電話の録音に入れておきます。 又は、災害用伝言ダイヤルの活用も考えられます。	災害用伝言ダイヤルを活用する可能性があるのであれば、そのことを説明しておきます。
17	L2	伝達		○	職員へ参集や情報共有のため、連絡する必要があります。しかし、アプリのサーバー障害発生のため、グループLINEが使えません。どうすればいいですか？	各職員に電話で連絡します。	電話で連絡する場合の優先順位・ルールを決めておくとういです。
18	L2	伝達		○	利用者へ避難の準備をするよう、声を掛けます。どのような声掛けをすればいいですか？	施設利用者が落ち着いて避難できるよう、「〇〇さん、今から〇〇するので、◆◆しましょうね」と声を掛けます。	利用者によっては、パニックを起こす恐れもあります。必要に応じて、「お出かけするのでその準備をしましょう」等、避難というワードを避けて準備させるのも一つの方法です。
19	L2	伝達		○	(施設が大規模な場合) 館内放送を使って、職員に対して警戒体制に入る旨を伝えます。どのような伝え方をすればいいですか？	あらかじめ職員内で取り決めた、職員のみがわかる隠語や合言葉等を用いて、利用者を不安にさせない形でアナウンスします。	館内放送が聞こえない場所や部屋はある場合は、注意が必要です。
20	L2	伝達		○	(施設が大規模な場合) 館内放送を使って、利用者に対して避難準備を始めてもらう旨を伝えた方がよいですか？伝える場合、どのような伝え方をすればいいですか？	施設利用者がパニックや必要以上に不安を感じる可能性があるため、放送による伝え方は慎重に行った方がよい。	館内放送が聞こえない場所や部屋はある場合は、注意が必要です。
21	L2	利用者準備		○	〇〇さん(利用者)が避難準備の助けを必要としています。どうすればいいですか？	〇〇にとって必要な準備は〇〇なので、その支援を行います。	利用者個別に必要なものが異なる場合もあるため、各利用者の持ち出し品がわかるリストを作成しておくとう便利です。
22	L2	利用者準備		○	利用者に避難を呼びかけましたが、なかなか起きて避難準備行動をとりません。どうすればいいですか？	無理やりでも起こし、避難誘導できる状態にまで準備します。	災害の規模や状況によっては、無理やり避難させることも必要です。シーツを活用したり、襟首を持って引っ張るなどの強行手段をとる必要があります。利用者の身体状況により搬送方法も変わってくるため、適切な搬送方法を身につけておく必要があります。
23	L2	利用者準備		○	利用者が避難のため玄関(ホール)に集合します。居室を確認して回ります。居室内に＜利用者＞がいます。どうすればいいですか？	＜利用者＞がどういう状況なのかを確認します。準備の支援が必要であれば支援します。	利用者の体調が優れず、行動がとれない状況かもしれません。落ち着いて話を伺い、適切な対応できる職員を配置します。
24	L2	利用者準備		○	利用者全員を避難のため玄関(ホール)へ集合させます。どうすればいいですか？集合には何分かかりますか？	避難誘導担当〇名で、分担して、各居室の利用者を順番に誘導させます。	
25	L2	誘導		○	屋外などへの出入口の施錠等で注意しなければならないことは？	避難後の施設の防犯対策として、開口部が解錠されたところがないよう、各担当で見回る室の施錠を確認していきます。	避難後の施設は無人状態となり、防犯上危い状態です。 少数特定の担当で確認するよりも、各担当で分担して確認できる体制を整えておきます。

	フ ェ ー ズ	カ テ ゴ リ	管	担	風水害__浸水の恐れによる屋外退去避難	簡易回答(例)	補足説明
26	L2	収集		○	避難先に避難する前に、避難先が避難できる状態になっているかどうかわかりません。どうすればいいですか？	避難所開設を担当している<〇〇市〇〇課 等>へ電話で確認し、「<避難開始トリガー>の時に避難するので、開設しておいてほしい」旨を連絡します。	あらかじめ、避難所開設・運営予定者の連絡先を確認しておき、避難準備の段階で、避難所の開設状況を確認できるようにしておきましょう。 また、併せて避難先での引き渡し(バス等降車)時に雨に濡れずに屋内へ移動できるか確認しましょう。
27	L2	収集		○	雨音がひどく、防災行政無線放送が流れているかどうか確認できません。どうすればいいですか？	市町からFAXやメールなどの情報がきていないか確認します。また、直接市町防災担当課へ電話で確認します。	市町からの情報提供方法・タイミングは、市町によって異なります。あらかじめ確認しておきます。 〇〇市(町)からは〇〇に関する情報がFAXにて情報が提供されることになっています。
28	L2	収集		○	防災行政無線放送とはどこにありますか？どのようなものですか？	市町から各地域に設置された無線設備等を用いて放送される防災情報等の放送設備です。	戸別受信機が設置されている場合は、受信機でも放送を聞くことができます。
29	L2	資機材等準備		○	資機材や備蓄品を確保します。どうすればいいですか？	必要数を確保し、避難誘導の障害とならず、使用しやすい、円滑に運搬しやすい配置し、避難誘導に備えます。	資機材は、利用者を円滑に避難誘導するための設備や装備品です。車いすが必要数確保できているか、すぐ使えるところにあるか、避難用車両をかくほできたか等を確認し、準備します。 食料や避難先で使う品等の備蓄品は、最低3日分の水・食糧や衛生用品、毛布等を準備します。 また、各個人に応じて必要なものは、医薬品や着替え、最低限身支度に必要なものを準備します。
30	L3	判断・指示	○		・洪水警報が発表されました。また、〇川(河川名)の氾濫警戒情報が発表されました。 ・高齢者等避難が発令されました。 どうすればいいですか？	避難行動の準備状況を確認するとともに、警戒体制の職員を参集させ、各担当の役割に応じて避難準備を進めます。	・家族への事前連絡 ・周辺住民との連絡 ・避難所への連絡 ・利用者の装備品の装着 ・持ち出し品の運搬積込 ・移動用車両の配置 ・要配慮者の避難誘導
31	L3	判断・指示		○	防災行政無線より「高齢者等避難が発令されました」と放送されました。どうすればいいですか？	避難行動の準備状況を確認するとともに、警戒体制の職員を参集させ、各担当の役割に応じて避難準備を進めます。	・家族への事前連絡 ・周辺住民との連絡 ・避難所への連絡 ・利用者の装備品の装着 ・持ち出し品の運搬積込 ・移動用車両の配置 ・要配慮者の避難誘導
32	L3	判断・指示	○		水位が避難判断水位近くまで上がってきています。どうすればいいですか？	避難行動の準備状況を確認するとともに、警戒体制の職員を参集させ、各担当の役割に応じて避難準備を進めます。	・家族への事前連絡 ・周辺住民との連絡 ・避難所への連絡 ・利用者の装備品の装着 ・持ち出し品の運搬積込 ・移動用車両の配置 ・要配慮者の避難誘導
33	L3	誘導	○	○	パニックオープンとはどのようなものですか？	災害時や停電時に自動的に解錠される電子制御された鍵の仕組みです。	災害(火災や地震)が発生した際に、電子錠や自動ドアといった電気で作動する扉を自動的に開放してくれるシステムです。停電が起きて非常電源に切り替わったときにも作動し、ドアが開放された状態を保ちます。
34	L3	誘導	○	○	非常用照明とはどのようなものですか？	停電した場合に、通常の照明に替わって照明します。	夜間時は、施設内通路・室内が真っ暗な状態になります。最低限、避難路を確保するため、特定用途の施設の居室と廊下等には非常用照明を設置するよう、法律(建築基準法)で義務付けられています。 また、定期的に点検・バッテリーの交換を実施し、常に作動できる状態を保ちます。
35	L3	誘導		○	外は大雨が続いています。利用者が安心・安全にバスや自動車へ乗車するためにはどうすればいいですか？	施設出入口とバス・自動車との動線ができるだけ短く、雨に濡れないよう配慮し、必要ならば、利用者に雨ガッパを着用してもらいます。	
36	L3	誘導		○	リフトの使用方法について、どのように操作しますか？	リフト展開位置周辺の安全確認を行った上で、リフトのアームと床版、手すりを展開し、備付の操作ボタンによりリフトの上下・停止操作を行います。	使用できる人員が特定の者に限定されていると、柔軟な体制がとれない恐れがあります。できる限り、多くの職員が操作できるよう、操作研修等を行います。
37	L3	誘導		○	リフトの位置で気をつけなければならないことは？	荒天のため、建物出入り口からの動線は極力短く、安全に乗降しやすい向きとなるように配置します。また、都度周囲の安全確認を行って、リフトを操作します。	リフトの可動域、周辺の安全を確認しないまま操作すると、予期せぬ事故の原因となります。リフト操縦者と利用者移動支援者が異なる場合、お互いで安全確認することが必要です。
38	L3	誘導		○	リフトを使用して利用者1人を乗車させるまでに必要な時間は？	建物出入り口から車内まで〇分かかります。	リフト操縦者と利用者移動支援者、車内受入担当者で分担されていると、作業ロスが少なく、スムーズです。ただし、安全確認は互いに行う必要があります。
39	L3	誘導		○	避難に使用できる車両の台数と一度に移動させられる人数は？ 運転できる職員は何人で誰ですか？	車両の台数は〇台で、一度に移動させられる人数は〇人です。 バスを運転できる職員は、〇〇さんと〇〇さんです。	運転できる人員が特定の者に限定されていると、柔軟な体制がとれない恐れがあります。できる限り、多くの職員が運転できることが望ましいですが、少なくとも、運転できる人員の参集しやすさなどを考慮して勤務体制を検討したほうがよいかもしれません。
40	L3	誘導		○	リフトが故障して使えなくなりました。どうすればいいですか？	担当者として、〇〇さんと〇〇さんで利用者を担ぐなどして移動・乗車させます。	

	フェーズ	カテゴリ	管	担	風水害__浸水の恐れによる屋外退去避難	簡易回答(例)	補足説明
41	L3	誘導		○	予定していた順番で利用者を乗車させることができない状況です。どうすればいいですか？	急を要するため、順番を変えて乗車させます。	ストレッチャー使用者など、乗車方法や順番に配慮すべき方がいる場合は、事前に乗車順が変わる可能性も検討しておくとういです。
42	L3	誘導	○		バス・自動車への利用者全員の乗車は完了したかを確認します。どうすればいいですか？	誘導班である〇〇(自分)が、実際の人数を数え、乗車予定の人数と照らして確認します。	あらかじめ、乗車名簿を作成しておき、運転手若しくは添乗する職員が名簿と目視により確認します。
43	L3	誘導	○		バス・自動車への利用者全員の乗車が完了しました。避難経路の状況を事前に確認したところ、避難経路が〇cm程度冠水しています。どうすればいいですか？	冠水路を避けた迂回ルートを選択し、避難します。	
44	L3	誘導	○	○	明らかに、自動車での避難が困難と思われる浸水の状況は、どのようになったときですか？	車の床面やマフラーなど、車体底面部分に水が浸かったり、入るような深さで道路が冠水した時です。	冠水した状態で自動車を走らせると、浸水深さによっては、エンジン内に水が浸水し、又は浮力で車体が浮き上がり、走行不能となります。
45	L3	誘導		○	避難先に到着しました。避難先のどのスペースが利用できるか知っていますか？	車いす利用者等も移動しやすく、多目的トイレが配置されている〇階の〇〇室を利用できます。なお、その旨を、あらかじめ避難先の施設管理者や地域関係者と調整しています。	避難先では、避難所運営の主体との連携が必要です。また、他の施設からの避難者や地域住民も避難してくるため、混乱やトラブルを避けるためにも、平時のときにあらかじめ調整しておく必要があります。
46	L3	誘導		○	避難先に到着後、避難に使用した車両はどこに駐車すればよいですか？	その他の避難者の邪魔とならないよう、施設内駐車場の奥側に駐車しておくようにします。	避難先では、避難所運営の主体との連携が必要です。また、他の施設からの避難者や地域住民も避難してくるため、混乱やトラブルを避けるためにも、平時のときにあらかじめ調整しておく必要があります。
47	L4	誘導		○	(EVがある場合)すでに浸水被害等が発生している状況で、避難にエレベーターを利用できますか？	利用中に停止してしまい、閉じ込めが発生する恐れがあるため、利用しないようにし、利用中止の貼り紙を掲示します。	水の被害を避けるために、エレベーターを中間階(最下階と最上階の間の階)に移動させ、機器・設備が収納してある建屋に設置のエレベーター用の電源を切り、エレベーターが使用出来ないようにすると安全です。
48	L4	判断・指示	○		・避難指示が発令されました。 ・〇川(河川名)の氾濫危険情報が発表されました。 どうすればいいですか？	残った職員全員が避難先へ自動車で避難します。	最後に入出口の施錠を忘れないように確認します。
49	L4	判断・指示		○	防災行政無線より「避難指示が発令されました」と放送されました。どうすればいいですか？	残った職員全員が避難先へ自動車で避難します。	
50	共通	体制	○	○	警戒体制以降のリーダーは、だれですか？	基本的に、管理者の〇〇さんがリーダーとして参集しますが、参集不可能な場合は、その時点で出動している〇〇さんがリーダーです。	避難確保計画に基づき、非常時のリーダーをあらかじめ決めておきます。管理者が参集でき次第、臨時リーダーは把握している情報を報告し、リーダーを引き継ぎます。
51	共通	伝達／体制		○	非番職員に連絡し、応援要請します。どうすればいいですか？	連絡体制表に則り、電話とグループLINEにより状況を共有するとともに、あらかじめ決められたルールに該当する職員に参集するよう養成します。	
52	共通	収集		○	情報収集を行います。何を使って行いますか？	事務室のパソコンやタブレット又は個人所有のスマートフォンなどを使用し、情報を収集します。	例えば、防災みえの河川水位情報で水位を確認できます。 官民が提供する各種防災アプリで収集することもできます。 ※DIG時に各個人所有のモバイル端末を使用し、何を使うかを実際に確認します。
53	共通	収集		○	近隣の河川の水位を確認するにはどうすればいいですか？	河川に近づかず、河川水位情報サイトを確認するなど、安全に確認できる方法で、水位を確認します。	水位が高い状態の河川は大変危険なため、あらかじめ安全な確認方法を施設内で決めておきます。 ※DIG時に各個人所有のモバイル端末を使用し、情報を実際に確認します。
54	共通	収集	○	○	近隣の河川の水位について、知っておくべき水位の種類とその数値は何mですか？	＜河川名＞の水位は、氾濫注意水位が〇m、避難判断水位が〇m、氾濫危険水位が〇mです。	水位の情報は、防災みえの河川水位情報サ等で確認することができます。 ※DIG時に各個人所有のモバイル端末を使用し、情報を実際に確認します。
55	共通	収集	○	○	〇川(河川名)の水位情報について、「氾濫注意情報」とはどのような状態ですか？ 氾濫注意水位は〇mでしょうか。	〇川(河川名)は、〇〇m(水位)です。	「氾濫注意情報」は、川の増水により、氾濫への注意を始める必要を伝える情報です。 氾濫注意水位は、川の増水により、氾濫への注意を始める必要を示す水位で、今後、川の水位が上昇していくおそれがあります。 これから発表される洪水予報や河川の水位、自治体からの避難情報に注意し、避難が必要となることを想定しておきます。 また、今のうちに洪水ハザードマップで災害の危険性や避難場所までの経路を改めて確認しておきます。 ※DIG時に各個人所有のモバイル端末を使用し、情報を実際に確認します。

	フェーズ	カテゴリ	管	担	風水害__浸水の恐れによる屋外退去避難	簡易回答(例)	補足説明
56	共通	収集	○	○	○川(河川名)の水位情報について、「氾濫警戒情報」とはどのような状態ですか？ 避難判断水位は○mでしょうか。	○川(河川名)は、○○m(水位)です。	「氾濫警戒情報」は、川の増水により、今後氾濫するおそれがあることを伝える情報です。 避難判断水位は、川の増水により、今後氾濫するおそれがあることを示す水位で、川の氾濫のおそれが高まっています。 特に、高齢者や障害のある人など避難に時間のかかる方やその支援者は、自治体からの避難情報などを確認し、避難場所等の安全な建物への避難など、適切な避難行動をとる必要があります。 ※DIG時に各個人所有のモバイル端末を使用し、情報を実際に確認します。
57	共通	収集	○	○	○川(河川名)の水位情報について、「氾濫危険情報」とはどのような状態ですか？ 氾濫危険水位は○mでしょうか。	○川(河川名)は、○○m(水位)です。	「氾濫危険情報」は、川からいつ水があふれ出してもおかしくない危険な状況を伝える情報です。 氾濫危険水位は、川からいつ水があふれ出してもおかしくない危険な状況を示す水位で、川の水がいつあふれてもおかしくない状態です。 今後、氾濫 が発生すると、避難が困難になります。 浸水のおそれのある地域にいる人は、自治体からの避難情報などを確認し、避難場所や安全な親類や知人宅への避難など、適切な避難行動をとる必要があります。 ※DIG時に各個人所有のモバイル端末を使用し、情報を実際に確認します。 なお、「氾濫発生情報」が発表された場合は、氾濫が既に発生し、氾濫水による浸水の恐れがあります。